

# 野村小学校の歴史 Q&A

130年以上の歴史がある野村小学校や野村地域には、多くの先輩たちが学校や郷土野村に愛着をもち大切にしようとして取り組んできた多くのドラマがあります。その中から、いくつかのことについてみんな大好き「のむラッコ」に紹介してもらいましょう。そして、みなさんも先輩たちのように学校や郷土を大切に作る人になってくれたらうれしいです。



## Q1 「野村」という地名には、どのような由来があるのですか。

江戸時代の終わり頃、高岡は「<sup>野</sup>野」と呼ばれた野原の多いところで、<sup>野</sup>野村といっていました。次第に人々が住み始め、家の数が増えていきました。そこで、「<sup>上</sup>野村」と「<sup>下</sup>野村」の2つの村に分けることにしました。

その後、「<sup>下</sup>野村」を「<sup>下</sup>野」と「<sup>野</sup>村」の2つに分けられることになりました。当時の「<sup>野</sup>村」地域は、現在の「<sup>深</sup>沢、<sup>出</sup>来田、<sup>井</sup>口本江、<sup>蓮</sup>花寺、<sup>三</sup>女子、<sup>野</sup>村、<sup>石</sup>瀬」の小さな村に分かれていましたが、明治22（1889）年に村制が施行されたことにより、これらの村が合併して新しい「<sup>野</sup>村」が誕生しました。ちなみに、「<sup>野</sup>村」が高岡市になるのは、昭和17（1942）年のことです。



## Q2 野村には、世の中で活躍した有名な人物がたくさんおられたと聞きましたが、どのような人がいたのか教えてください。

2人の人物を紹介します。

1人目は、大工さんとして大門大橋を造った<sup>蓮</sup>花寺屋伝右衛門という人です。昔は、大門への橋は架かっていませんでした。また庄川は波が激しく船で渡ることも難しく、村人もたいへん不自由を感じていたそうです。

そこで、彼は人々のために、藩主に「橋を架けさせてほしい」とお願いをしました。お願いが通じるまで何年もかかったそうです。彼は、「橋の工事中、一滴も雨が降らなかったならば、お天道様に感謝して笠をかぶらない」という誓いを立てたとされています。工事中、彼の思いどおり一度も雨が降らず、見事に工事は完成しました。以来、死ぬまで一度も笠をかぶらなかったといわれています。

2人目は、<sup>吉</sup>田<sup>藤</sup>助さんです。藤助さんの家は野村にありました。16歳のとき、父が亡くなったので、藤助が働いて家族を守っていきました。この頃、人々の楽しみは祭りとはんもち大会でした。はんもち大会とは、力自慢を競う大会です。藤助は、横田の<sup>有</sup>磯神社で行われたはんもち大会で米俵5俵（約300kg）を持ち上げ、さらにそれを投げ捨てるという怪力ぶりを発揮して優勝したそうです。このことは高岡や周りの地域でも有名になり、二枚橋のところに藤助を讃える石碑が建てられることになったそうです。また、藤助は道で人に話をするときも米俵を担いだまましたそうです。これを見ていた人たちは、「さすが藤助さん」と感心したと言っています。





### Q 3 野村小学校は、いつできたのですか。

明治22年(1889年)に、国のきまりで、市、町、村をつくることになりました。そのため、野村も含めた8つの村が合わさって一つの村ができ、村の名前を「野村」に決めました。それが、今の「野村」のはじまりです。このころはまだ高岡市ではなく、<sup>いみずぐん</sup>射水郡とっていました。庄川の向こうにある今の射水市と同じ地域でした。新しくできた「野村」の村議会で学校をどこにつくるかが話し合われました。今の野村地域と同じく南北に長い地域なので、子どもたちが通うことを考えていろいろと話し合われました。

その結果、ちょうどまん中につくろうということになり、役場といっしょにして野村小学校をつくりました。それが、今から約130年前の1890年(明治23年)4月1日だそうです。場所は、今の野村第4にある坪田さんという家を借りていたそうです。そのときの児童数は97人で、先生は1人でした。その先生の名前は、<sup>こじまなおいち</sup>小島直一先生で、「訓導兼校長」という役職でした。

次の年、明治24年、今のJAがあるところに、新しく村役場を建てましたが、その建物と同居することで、野村小学校の建物が初めてつくられました。ぜんぶ木造でつくられていました。



### Q 4 野村小学校は、できてからずっとこの場所にあるのですか。

明治41年に、今のJAがあるところから、今の場所に新しく建てかえられました。大きさは、縦が約9m、横が24mの長方形をした木造校舎でした。完成を祝う落成式を行ったのが7月7日でした。このときから創校記念日を7月7日に決めました。



### Q 5 その頃の授業は、どんな科目がありましたか。

勉強は、<sup>しゅうしん</sup>修身(今の道徳)、国語、算術(算数)、日本歴史、地理、理科、<sup>としよ</sup>図書(図画)、<sup>しょうか</sup>唱歌(今の音楽)、体操(体育)、<sup>さいほう</sup>裁縫(今の家庭科)がありました。午前中4時間、午後2時間でした。学校へ自分の弟や妹を連れてきたり、おんぶしてきたりする人もいたそうです。



### Q 6 校長先生は、今までに何人おられましたか。

現在の鳥内校長先生を含めて42人おられます。会議室に写真があります。





### Q 7 校歌はいつつくられたのですか。

今の校歌がつくられたのは、昭和27年（1952年）です。第62回創校記念日で初めて披露されました。6月9日～7月3日まで4年生以上が毎日練習したそうです。校歌を作詞、作曲されたのは、野村豊繁先生です。野村先生は、作詞や作曲が得意で、よくNHKのコンクール等にも応募され、賞を受けておられたそうです。専門は理科で、授業もたいへん上手にされたそうです。校歌は時代の移りかわりにより、つくりかえられてきています。本校の校歌も戦前は別の校歌があったそうですよ。



### Q 8 校章は、いつつくられたのですか。

昭和31年（1956年）につくられました。当時は学校に購買部こうばいぶがあって、学習に必要な物や校章のバッジや名札等、学校で決められた物を売っていました。



### Q 9 グラウンドにある偉人の胸像がありますが、誰だか分かりますか。

それは、野口英世です。昭和31年5月に、野口英世のような人間になってほしいという気持ちをこめて婦人会から贈られたものです。当時は、婦人会活動がさかんで、いろいろところで活躍しておられました。婦人会は結婚された女性が入る会です。



### Q 10 野村小学校の児童数が一番多かったのはいつ頃で、何人でしたか。また、一番少なかったのはいつ頃で、何人でしたか。

一番少なかったのは、初めて野村小学校ができたときです。97人で1学級でした。一番多かったのは、昭和59年で、1,208人でした。学級数は30学級でした。昭和40年頃から野村地区へ多くの住民が住むようになりました。新しく家を建てて住まれる場合がほとんどでした。野村校下の人口は増え続け、児童数も増えていきました。そのとき、4階建ての北校舎も建てられました。野村小学校は、はじめて学校ができた時からずっと400人くらいの児童数の学校で、それに合う大きさで建てられていました。だから、急に児童数が増えたので、せまくなってきたのです。

